慶應義塾 医学部新聞

発行所
三四会医学部新聞編集室
〒160―8582
東京都新宿区信濃町35
電話(3353)1211 内線64996
会員については会費に購読料が含まれる
発行人　武田　純三
毎月　１回20日発行

三四会ホームページ

信濃町駅前・各種診療
慶應義塾大学病院
●外来診療時間＝午前8時40分～午後12時 午後1時～午後4時（特殊外来）
●電話＝03（33353）1211（大代表）

# 2024年 医学部新年祝賀式開催

## ポストコロナ時代を迎えて さらなる躍進を誓う

医学部では、毎年新春を迎えて、教職員および三四会員による新年祝賀式を開催しています。直近3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大を受け、慶應義塾関係者のみで開催しましたが、本年は、1月5日（金）に、慶應義塾大学病院2号館11階の大会議室で開催され、式典の様子はZoomウェビナーでも生配信いたしました。

慶應医学賞ライジング・スター賞受賞者（左より）金井隆典 医学部長、櫻井政寿 内科学（血液）専任講師、伊藤公平 塾長、筋野智久 内視鏡センター 専任講師、家田真樹 医学研究奨励事業委員長

新年祝賀式の様子

武田純三三四会会長によるご挨拶

慶應義塾大学と親交の深い学校法人北里研究所から、小林弘祐理事長、谷下常任理事を来賓として迎え、冒頭に金井隆典医学部長が年頭の詞を述べ、伊藤公平塾長、小林弘祐北里研究所理事長、武田純三三四会会長、松本守雄病院長、岡野栄之医学部教授（教職員代表）からそれぞれ賀詞が述べられました。

また、新年祝賀式と併せて「坂口光洋記念慶應義塾医学振興基金」に基づく慶應医学賞ライジング・スター賞授賞式が行われ、内科学（血液）専任講師　櫻井政寿君と、内視鏡センター専任講師　筋野智久君の2名が受賞されました。

# 第19回 白衣式

## 決意も新たに、いざ臨床実習へ

去る1月6日、令和5年度白衣式が北里講堂にて執り行われた。COVID-19の影響により、オンラインでの実施や学生のみの開催が続いていたが、今年は4年ぶりに学生と保護者が一堂に会した。医学生の臨床実習の門出を祝う白衣式は本塾が2006年に我が国でいち早く取り入れ、今年で19回目を迎える。

式典には金井隆典医学部長、松本守雄病院長、武田純三三四会長らが列席し、臨床実習を控えた105回生（新5年）106名に、祝辞を送られた。

金井医学部長は、白衣式を迎えたこの日を良い緊張感と周囲の方々への感謝の気持ちをもって過ごしてほしいこと、そして白衣を着ることの意味について語り、105回生の門出を祝福した。

松本病院長は、白衣を着ることで気を引き締めて患者さんと向き合えること、患者さんに優しい医療を提供することについて語り、臨床実習で実際にそのような現場を経験するうえでの心構えを説いた。

武田三四会会長は、卒業式のない医師としての人生の入学式であると例えられ、今日の気持ちをこの先の人生で時に思い出してほしいと述べられた。なお、三四会からは同白衣式の記念品として、印鐘付きボールペンが105回生全員に贈呈された。

その後、今までお世話になった先生方からのメッセージビデオ（105回生制作）が放映され、懐かしい顔ぶれに多くの学生が頬を緩め、会場は和やかなムードに包まれた。

そして、いよいよ白衣の授与である。昨年はCOVID-19の感染対策のために白衣を各自で着ていたが、今年は、参加した学生一人ひとりが、金井医学部長、松本病院長、武田三四会会長、門川俊明医学教育統轄センター長、平形道人卒後研修センター長に白衣を着させて頂いた。真新しい白衣を着た学生がずらりと並ぶと、会場からは大きな拍手が沸き起こった。

その後、105回生106名により、誓いの言葉が唱和された。誓いの言葉は、有志により組織された白衣式委員会を中心に、105回生全員が協力し、数ヶ月をかけて考えられたものである。

106名が声をそろえて誓いの言葉を読み上げると、会場からはより一層大きな拍手が沸き起こった。

最後に、門川医学教育統轄センター長が閉会の辞を述べた。入学式がなかった105回生には、8月に行われた二日間のショーケースで初めて直接会うことができたことや、2年生の初めのガイダンスで自主的に学年の集合写真を撮っていたことなどを語り、COVID-19流行下においても何とか学年内の繋がりを作るための教員と学生の奮闘を振り返った。また、病院の中で白衣を着た身としての振る舞い方についても説かれ、105回生を激励した。

白衣式を終えて、私たち105回生はいよいよ医療者としての第一歩を踏み出し、実際の臨床現場に出て医療および医学をより深く学んでいくことになる。来たる臨床実習では常に感謝の気持ちを忘れず、たとえ悩み迷うことがあっても初心に帰って誓いの言葉を反芻し、日々研鑽を積んでいきたい。

（4年　浅井隆徳、伊庭知里、頃安美玲、村田和勇樹）

これから臨床実習に臨む105回生たち

新しい白衣に袖を通す

「誓いの言葉」を唱和

## 105回生 誓いの言葉

私たち１０５回生は
日々感謝の気持ちを忘れないこと
患者中心の医療を実践すること
常に向上心を持って研鑽に励むこと
いかなる困難にも
仲間と共に立ち向かうこと
世界の医療の礎を築く先導者となること
をここに誓います。

## 三四会理事会への オブザーバー参加

大塚　崇（75回）

2024年1月19日に開催された三四会理事会に75回生のオブザーバーとして参加しました。理事会でが、理事の皆さんがとても熱心にディスカッションしているのが印象的でした。私から75回生が重要な役割を果たす2024年慶應連合三田会大会の準備状況を説明させていただきました。理事の先生方から、今後の準備の参考とナルフィードバックのコメントをいただくことができました。

塾医学部を卒業してからずいぶん立ちますが、理事会に参加することで慶應義塾、医学部の行事に参加しているという実感を久しぶりに持つことができました。

## 三四会定例理事会に出席して

内田　敬子（73回）

このたびはじめて武田純三会長からお声がけいただき、73回クラス評議員として福永興壱君とともに定例理事会に出席しました。医学部学生や若い医師に開かれた三四会を目指して、主に若者とのイベント等について一つ一つ丁寧に審議されているということを知りました。また、前例や慣習にとらわれない雰囲気もあり、オブザーバーとして自由に発言させていただく機会もいただきました。三四会会員として全く熱心ではない私にも先輩方からお声をかけていただいたり、特に2022年連合三田会でのイベント開催では、多くの先輩方が現地に足を運んでくださり多大なるご支援をいただきました。今後もこのご縁を大切にしていきたいと感じております。

## 三四会理事会報告

- 能登半島地震での三四会員の被害は報告されていない
- 赤倉山荘運営委員会報告：第18回慶應赤倉アカデミー（2023年９月30日・10月１日）、KAA-Jr（2023年８月20日）を開催。病院スキーツアー（３月）、KAA-Jr.（８月）、連合三田会大会を予定
- 産業医委員会報告：2023年12月15日に開催。次回２月16日に開催予定で、三四会員の参加費を2000円に値上げ
- 名簿作成：新会員情報管理システムを使用して11月に発行予定
- 三四会奨励賞、社会功労賞応募を医学部新聞２月号に掲載
- オブザーバー参加：73回内田敬子先生、福永興壱先生、75回大塚崇先生が参加。令和６年連合三田会大会について意見交換

Keio University
慶應学術事業会からの大切なお知らせ
締切を延長します！お急ぎください!!
延長締切日は 2024年3月２２日（金）です。
三四会員限定 団体保険
【勤務医師賠償責任保険】
医療行為によって患者の身体に障害を与え、法律上の賠償責任が発生した場合に補償される保険です。
最大割引 20%適用
詳しい内容はこちら
【産業医等活動保険】
法令等によって定められた産業医、健康管理医、学校医等の職務活動を対象として補償される保険です。
詳しい内容はこちら
【団体総合生活保険】
４つの補償 いずれか１つからご加入できます。
①所得補償 ②医療補償 ③がん補償 ④傷害補償
４つのオプション
①個人賠償責任補償 ②弁護士費用等補償 ③携行品補償 ④ホールインワン補償
詳しい内容はこちら
株式会社慶應学術事業会　e-mail：hoken@keioae.com　tel：03－3453－3846（塾内線22486）
弊社は慶應義塾出資子会社の一社として、慶應義塾の経営に寄与することを目的として、慶應義塾の施設管理事業、社会人教育事業（慶應丸の内シティキャンパス）、慶應カード事務保険代理店事業を行っております。三四会員の皆様が安心して医療活動に専念できるように保険を通じて安心をお届けできればと考えております。
お問い合わせはこちら
INSURANCE
引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社　23TC-007190　2024年１月作成

## 三四会奨励賞の推薦について

Young Investigator Award, Keio University School of Medicine Alumni Association（Sanshikai）

目的　若手の三四会会員の研究を奨励し、実学としての慶應医学の発展を図る。

対象　1．次の各分野で学位取得後地道に研究を続け、すぐれた業績をあげた三四会正会員で三四会員として少なくとも１年は経過している者（本塾関連病院のみではなく、研究施設、他大学、地域等で業績をあげている三四会員も含む）
対象となる分野
イ、臨床医学　　ロ、基礎医学
2．満40歳以下

推薦方法
1．推薦者は、三四会役員、三四会評議員、慶應義塾大学医学部教授、慶應義塾大学関連病院会会員および他大学教授（三四会員）とします。
2．推薦者は、候補者の承諾を得た上で、所定の書式（三四会奨励賞推薦状）により候補者を推薦して下さい。
3．推薦締切りは2024年４月12日（金）必着、三四会事務局宛とします。
4．提出書類は、推薦状、被推薦者略歴、業績目録、主論文一編の別刷（学術集会発表の場合はそれを証明するコピーと800字程度の抄録）、提出部数は、オリジナル1部とコピー10セットが必要です。
5．対象となる研究が共著論文の場合は共著者の承諾書（オリジナル１部とコピー10部）が必要となります。

※推薦状、略歴、業績目録、論文、共著者の承諾書を順に組んで１部とし、コピーも同じ体裁に整えてください。
※推薦状のダウンロード、必要書類等は下記URLをご覧下さい。
URL：https://www.sanshikai.jp/award/incentive

選考ならびに受賞
三四会奨励賞選考委員会による厳正な選考の結果、約８名程度の受賞者を決定します。受賞者は2024年６月15日（土）に予定されている三四会定例評議員会で表彰され、賞状および副賞が授与されます。

## 三四会社会功労賞の推薦について

目的　地域社会、社会貢献を通じて顕著な功績により三四会の名誉を高めた三四会員を表彰し実学としての慶應医学の発展を図る。

対象　1．表彰目的に沿った優れた業績をあげた三四会正会員（本塾関連病院のみではなく、研究施設、他大学、地域で業績をあげている三四会員も含む）
2．年齢は問わない。

推薦方法
1．推薦者は、三四会役員、三四会評議員、慶應義塾大学医学部教授、慶應義塾大学関連病院会会員および他大学教授（三四会員）とします。
2．推薦者は、候補者の承諾を得た上で、所定の書式（三四会社会功労賞推薦状）により候補者を推薦してください。
3．締め切りは、2024年４月12日（金）必着、三四会事務局宛とします。
4．提出部数は、推薦状、被推薦者略歴、表彰目的に沿った業績目録、客観的に評価しうる資料等、オリジナル1部とコピー10セットが必要です。

※推薦書のダウンロード、必要書類等は下記URLをご覧下さい。
URL：https://www.sanshikai.jp/award/distinguishedService

なお、社会功労賞は、年を重ね、業績を積むことにより、より事業に重みを増すものです。これまでに採択されなかった事業についても是非再度応募ください。

選考ならびに受賞
三四会長を委員長とする三四会社会功労賞選考委員会による厳正な選考の結果、原則１名の受賞者を決定します。受賞者は2024年６月15日（土）に予定されている三四会定例評議員会で表彰され，賞状および副賞が授与されます。

## 鑑定知来

学生の頃、課外活動の機会を利用してアフリカや東南アジアの医療を学び、いつかは現場で女性の健康を守れる産婦人科医になることを志した。専門医を取得した段階で、当初の目標であった国際保健を産婦人科医の視点から学ぶことを目的とし、現在米国で公衆衛生を学んでいる。

世界へ視野を向け、低中所得国の産婦人科医療を学びたいという強い志があったものの、良くも悪くも期待していたものは学べていない。世界の医療を先導しているはずの米国の産科医療は根深く存在する人種差別、複雑な医療システムにより最悪な状況であることを学んだ。日本の約36倍の人数が妊娠により死亡しており、この数字は近年上昇傾向にある。対する日本は、母体死亡率、乳児死亡率、妊婦健診受診率、全て優等生のような数字を有する。産婦人科領域だけではなく、コロナによる死亡者数、平均寿命、平均年収、どんな社会的な数字でも日本はいわゆる〝いい国〟代表国である。今まで日本にいてそれを強く感じることはなかった。しかし、こんなに〝いい国〟なのに、不思議と誰も世界は注目しない。色々な授業で日本はいい国代表として紹介されるが、時にそれは、〝どうでもいい国〟とも聞こえてしまうのだ。確かに、超高齢化社会、災害医療など日本にも多くの課題がある。それでももっと日本は世界に注目されてもいいのではないだろうかと、日本人学生としては悔しく思う場面が多くある。

世界のために働きたいと思っていたが、日本を飛び出して、不思議と日本がよく見えるようになった。米国の医療へ幼い頃からなぜか憧れていた節があるが、少なくとも産婦人科領域においては憧れている場合ではない。日本の医療はきっと世界に応用できる場面が多くある。今私は日本のプレゼンスをあげ、日本に還元できる国際的医療人になりたい、と思うようになった。

（産婦人科学教室　北澤晶子　95回）